

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【公開番号】特開2019-198368(P2019-198368A)

【公開日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-047

【出願番号】特願2018-92949(P2018-92949)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の有利度に対応する設定値が存在しており、

前記設定値に関する所定の設定関連処理を実行する設定関連手段と、

所定報知を実行することが可能である所定報知手段と、

前記所定の設定関連処理が実行されたことに基づいて、前記所定報知手段に前記所定報知を行わせる又は所定実行契機の発生に対して前記所定報知手段にて前記所定報知を行わせることを可能とする所定報知可能状態に設定する手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、遊技者の有利度に対応する設定値が存在してあり、

前記設定値に関する所定の設定関連処理を実行する設定関連手段と、

所定報知を実行することが可能である所定報知手段と、

前記所定の設定関連処理が実行されたことに基づいて、前記所定報知手段に前記所定報知を行わせる又は所定実行契機の発生に対して前記所定報知手段にて前記所定報知を行わせることを可能とする所定報知可能状態に設定する手段と、

を備えていることを特徴とする。